武　一　中

令和５年７月２０日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ５－５号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

５年後の自分が今の自分に言いたいこと

校　長　　中嶋　建一郎

皆さんは、「あの頃にもどりたいな」「あの頃にもどれたら、こんなことをするのになぁ」と考えたことはありますか。「ああ、昨日に戻れたらなぁ」というのもありますよね。「あの一言を言わなければケンカにならなかったのに」とか。

例えば、３年生だったら、この夏休みを前にして、「１年生に戻れたら、あの勉強をコツコツとやるのにな」とか、部活動に関してだと「個人練習をもっとやっているな」とか、今だからこそ思うことがきっと、あるのではないかと思います。私も、もしも中学生にもどれたら、「英語の勉強をしっかりとやっていたいな」と思います。

こうやって考えるのは、今の自分が過去の自分を思い出し、もしも戻れたら、こんなことをしたいな、と考えることです。皆さんも時々、考えることがあるのではないでしょうか。映画やドラマだと時計が逆回転して、その時に戻るという場面が出てきたりします。多くの人が同じように考えるので、その願望を叶えることとして表現されるのだと思います。でも現実にはありえないですよね。

さて、ここで、皆さんにチャレンジしてほしいことがあります。発想を変えるのです。今の自分は、未来の自分が「戻りたいな」と思って戻ってきていると考えるのです。例えば、３年生なら、５年後の自分が、「ああ、中学３年の夏休み前に戻れたらな」と考えて、「今、戻ってきている」と考えるのです。そして、次に考えるのは、「５年後の自分は、今の自分に何をやっておけば良かったと思うのか」想像するのです。

勉強でしょうか、友だちと仲良くすることでしょうか。明日からの夏休みでの生活で、何に関して一生懸命やっておけば良かったと思うでしょうか。夏休み後の残りの中学時代、何を大切にしておけば良かったと考えるでしょうか。一人一人考えは違うでしょう。是非、想像してみてください。もちろん、１年後の自分でもいいです。近いところだと夏休みが終わった時の自分でも、ずっと先の１０年後でもいいです。想像して考えてみてください。

でも、いくら考えても想像がつかないこともありますよね。その時は、１年後なら１年先輩に聞いてみるのです。「先輩なら１年前に戻ったら、何をしますか。何が心残りですか」きっとヒントがもらえるはずです。家族に聞くのも良いですよね。人生の先輩に聞いてみるのです。

私は、３年後を想像し、その時の自分は、今の私に何をやっておけば良かったと思うのか考え、後悔しないようにいろいろチャレンジしてみたいです。

２０日（木）終業式より

【お詫び】

１学年副担任、美術科の 小沢知子 教諭の病気休暇については、４月にお知らせしていましたが、その後決まった、美術の講師についてお知らせをしていませんでした。１・２学年は 森田胡桃 先生、３学年に 野村眞由美 先生に受け持っていただきました。成績もそれぞれの先生が評価をしています。

また、２学年の保健体育の授業は、講師の 岡部健三 先生が 市川愛弓 主任教諭とともに受け持っています。

美術、保健体育ともに講師の決定についてお知らせをしておらず、申し訳ございませんでした。

【お知らせ】

市の派遣相談員の 金井義彦 カウンセラーですが、１学期で一中の勤務が終了となりました。２学期からは、別の相談員になりますので詳細は後日お伝えします。